

平成 28 年度事業計画

公益財団法人茨城国際親善厚生財団

当財団は、平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）の事業活動につき、下記のように計画しています。

公 1 災害時における茨城県内の緊急医療福祉支援体制を強化する事業

（１）緊急時医療福祉ネットワークの構築

当財団グループの医療法人厚友会城西病院、社会福祉法人筑西会と一体となり、災害等の緊急時に、茨城県民を守るための緊急時医療福祉ネットワークの構築を推進します。そのため、当財団グループの持つ下記のサービスを一層整備、活用いたします。

- ・平成 27 年 5 月に結城市との間で締結した「災害時応援協定」により、災害時に筑西会の施設を福祉避難所として提供する。
- ・グループ内に保有する「医療福祉包括相談センター」により、グループ全体のサービス情報を一本化して市民に提供し、平常時から、市民の保健・医療・福祉の包括的支援を行なう。
- ・グループ敷地内にあるドクターヘリ用のヘリポートの活用。
- ・「城西グループ急変対応チーム」（二次救命処置 ACLS の有資格者による救命チーム）により、緊急時の救命措置を迅速・的確に行なう。

また、災害時に生活関連物資の備蓄基地として利用できる、大規模倉庫型店舗の誘致活動も行ないます。

（２）緊急医療福祉支援活動を担う人材の育成

災害時は、平常時と異なり、衛生状態の悪化、使用できる設備・機器・薬品類の限定、移動の困難などの劣悪な環境が想定されます。当財団グループは、タイ北部山岳地域での長年の医療福祉支援活動を通じ、同地の中核医療福祉機関である「タイ国立メイサイ病院」と密接な関係を維持しています。当財団は、グループの職員等を同地に派遣し、日本に比べて不自由な環境での医療福祉の現場を視察させることによって、茨城県内の災害時における緊急医療福祉活動に資する事業を行ないます。

（３）緊急医療福祉活動に関する研修会・講演会の開催

（３－１）上記したタイ国立メイサイ病院の医療福祉従事者を日本に招き、日本の最新の医療福祉を視察してもらうと同時に、日本に比べて不自由な環境であるタイ北部山岳地域における医療福祉の実際について、茨城県の医療福祉従事者との研修会や講演会等

の交流の場を設け、茨城県内の災害時における緊急医療福祉活動に資する事業を行ないます。

(3-2) 当財団グループがこれまで実施してきた、アジア・中近東・アフリカ等での海外医療支援活動の経験について、茨城県の医療福祉従事者に対する研修会・講演会を開催し、緊急時の活動に資する事業を行ないます。

(4) 外国人介護職員に関わる事業

茨城県では、介護職従事者が不足しておりますが、今後、一層の高齢化と若者の介護職離れにより、不足はさらに深刻化していくものと思われます。当財団グループは、タイに保有するネットワークを活用し、「介護職」が追加された後の「外国人技能実習制度」のスキームにてタイの介護職員を日本に導入する事を計画しています。このスキームでは、タイ国立メイサイ病院が人選と介護の基礎的教育を行ない、当財団グループがメイサイ市で運営する日本語学校で日本語能力試験 N4 を取得させ、当財団が監理団体となって日本に招聘し、来日後は、城西病院が行なう介護職員初任者研修で初任者の資格を取得させる計画です。

(5) 「メーファールワン財団」との交流

当財団グループは、上記したタイ国立メイサイ病院との人的交流と同時に、タイ北部山岳地域に対し、日本の中古医療機器、消防車、救急車の寄贈を行なう事によって同地への医療福祉支援を継続して行なっています。この事業活動は、タイ王室関連の「メーファールワン財団」(代表は、タイの現国王ラーマ9世のいとこに当たるディスナダ・ディスクール殿下)の全面的なご支援のもと、行なっています。メーファールワン財団は、ラーマ9世の御母堂によって1972年に設立され、1988年から、30年計画の麻薬撲滅活動である「ドイトン開発プロジェクト」を行なっています。ドイトン開発プロジェクトの目的は、同地の住民に対し、麻薬に代わる代替産業として、コーヒー、マカダミアナッツ、陶器、和紙、民芸品等の生産を指導する事により、安定した合法収入による尊厳ある生き方、教育水準の向上、自立、衛生状態の改善、環境の保全を達成する事です。ドイトン開発プロジェクトは、国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)の高い評価を受け、その産物に、UNODCのラベルを貼付する事を許可されています。当財団は、メーファールワン財団からの支援に応え、メーファールワン財団の麻薬撲滅活動に対し、次のような協力事業を行なっており、今年度も継続して行ないます。

- ・ドイトン開発プロジェクトで生産されるコーヒーを使うドイトン・コーヒー店の運営。
- ・ドイトン開発プロジェクトで陶器を生産するメーファールワン財団と、笠間焼を有する茨城県笠間市との陶器分野での交流

公2 発展途上国において保健・医療・福祉支援活動を行う県内の法人・個人等に対する助成事業

自然災害や火災等によって被害を受けた発展途上国の被災民の医療援助、福祉援助活動に寄与するため、消防車、救急車、医療機器等の寄贈を行ないます。

公3 茨城県内在住の児童・青少年と発展途上国の児童・青少年の相互理解を目指した短期留学事業

当財団の所在する茨城県結城市と、当財団グループが、タイでの活動の拠点とするチェンライ県メイサイ市とは、平成24年、国際親善姉妹都市盟約を締結しました。それ以来、両市の高校生の相互留学事業を継続して行なっており、両市、両県の相互理解と友好関係の発展に寄与しています。